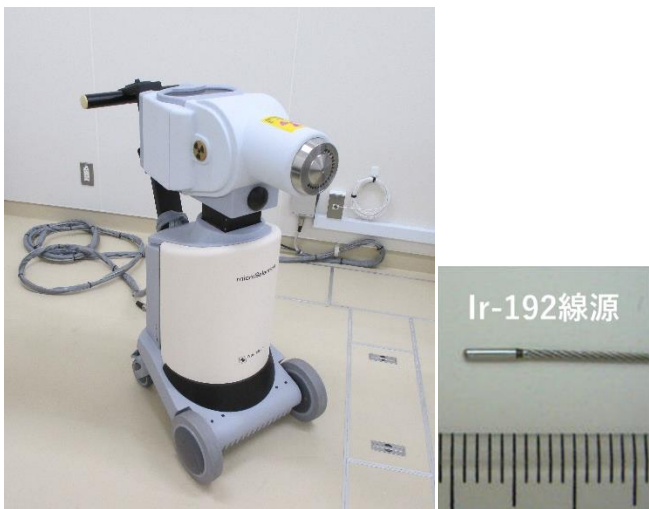


密封小線源治療室

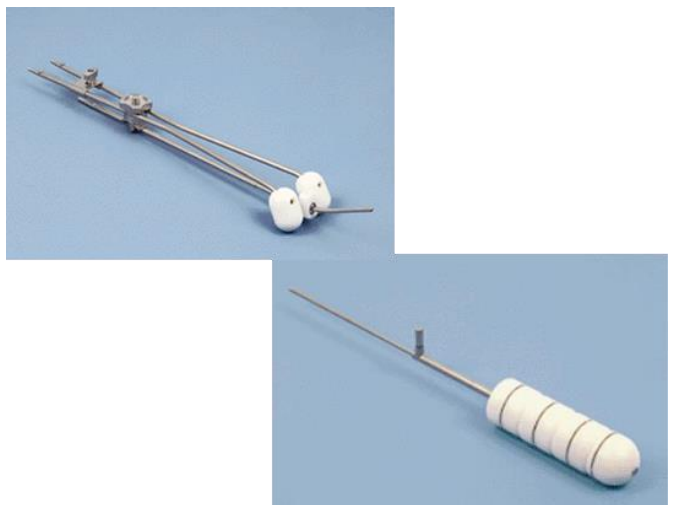
➤ リモート・アフターロディングシステム(RALS)

当院の密封小線源治療室には、Nucletron 社の microSelectron mHDR-v3 というリモート・アフターロディングシステム(RALS)が設置されております。Ir-192 線源(半減期 78.83 日)を装備していることが特徴で、年に 3 回の線源交換を実施しております。移送チューブは最大で 18 チャンネルに接続して使用可能であり、婦人科領域を中心に幅広い部位の密封小線源治療に対応しております。治療計画は Nucletron 社の Oncentra Brachy で立案します。

また、当院の密封小線源治療室では、2020 年 9 月の新棟移設工事により同室での治療計画 CT 撮像が可能となったことから、画像誘導密封小線源治療(IGBT)を移設以降の治療で実施しております。



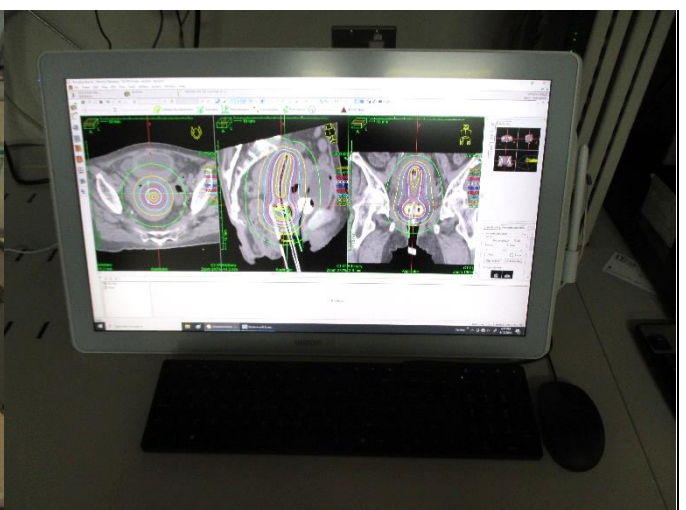
microSelectron mHDR-v3 と Ir-192 線源



婦人科用アプリケーターと膣アプリケーター



microSelectron 操作コンソール(TCS)



Oncentra Brachy (治療計画装置)

当院の密封小線源治療室には、GE 社の Optima 660 が治療計画用 CT として設置されており、リモート・アフターロディングシステム(RALS)による高線量率密封小線源治療に必要なアプリケーターを挿入した状態での CT 撮像に使用されています。CT のカーボン寝台には碎石位をとるための足台を設置可能であり、寝台の上で婦人科用アプリケーターを挿入できます。アプリケーターの体内位置を透視 X 線で確認するために GE 社の外科用イメージ OEC 9900 Elite も設置されています。



CT のカーボン寝台に設置した足台



外科用イメージ OEC 9900 Elite